

必修共通講習の内容（具体例）

1. 医療倫理

(1) 臨床倫理

- ・医療倫理の基本原則、法と倫理
- ・医師・患者関係の倫理（インフォームドコンセント、同意能力、守秘義務）
- ・倫理上の臨床課題（終末期医療、出生をめぐる問題、臨床課題へのアプローチ法）
- ・医療資源配分

(2) 医学研究と倫理

- ・人を対象とする研究倫理の歴史と基本原則
- ・人を対象とする研究倫理に関する国内外の関連法規・ガイドライン
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
- ・研究倫理審査委員会、治験審査委員会の機能と役割
- ・先端的な医学・生命科学をめぐる倫理的課題
- ・公正な研究 (Research Integrity)
- ・利益相反 (COI: Conflict of Interest)

(3) 以上の医療倫理に関する項目と関連する事項

2. 医療安全

(1) 医療の質の評価と改善の方略

(2) EBM (Evidence-based Medicine) を含むベストプラクティスの実践

(3) 医療の経済性、効率性への配慮

(4) 医療に内在するリスクと安全な医療の提供

（スイスチーズモデル、ハインリッヒの法則、PDCA サイクル、危険予知トレーニング）

(5) インシデント・アクシデント発生時の適切な対応

（現場対応、インシデント・アクシデントレポートなど）

(6) エラーの要因とその防止

(7) 医薬品・医療機器関連有害事象と安全対策

(8) 公的補償制度（PMDA の医薬品副作用被害救済制度や各都道府県の制度）

(9) 以上の医療安全に関する項目と関連する事項

3. 感染対策

(1) 標準予防策（スタンダード・プレコーション）

(2) 感染経路の理解と経路別予防策

(3) 感染症発生時の適切な対応

(4) 耐性菌対策と抗菌薬の適正使用

(5) 新興・再興感染症への対応

(6) 以上の感染対策に関する項目と関連する事項